

5 | 消費税アップは憲法違反ではないのか？



高校生

消費税が上がるみたいだけど、これからどんどん上がっていったらもう買い物できないよね！ これ憲法違反？



レクチャー

1 | 税金は歴史を動かす

税を徴収するには、議会を通さなければなりません。これは租税法律主義と言いますが、憲法の84条に規定されています。

憲法84条

あらたに租税を課し、又は現行の租税を変更するには、法律又は法律の定める条件によることを必要とする。

興味深いことに、今ではどこの国にでもある議会は、まさに課税、つまり税金問題がきっかけで誕生したのです。中世のヨーロッパでは、戦争の規模が拡大し、その費用をまかなうために、国王はそれまで以上に税金を課す必要に迫られました。配下の領主と民衆にその同意を得るために生まれたのが、議会のルーツとなる、フランスの三部会です。

時代が下ると、国王の権力も増大し、議会との対立は激しさを増してきました。税を課することや、財政の立て直し問題がきっかけとなって革命も起きます。それが、イギリスの名誉革命やフランス革命なのです。

2 | もっと高い消費税率は違憲?!

消費税は1989年4月から導入されました。高校生の皆さんは、消費税が5%と8%の時代しか知らないでしょう。下の図にあるように最初は3%だったのです。

■消費税の税率の推移

1989年	3%
1997年	5%
2014年	8%
2017年	10%

さて、消費税を10%に引き上げることが予定されていますが、これを憲法違反と主張できるでしょうか。

消費税率500%などのような、異常に高い消費税率であったり、特定の人たちだけを狙い撃ちにした税（たとえば、35歳以上の独身の人には税を課すなど）であったりすれば、違憲だと主張できるかもしれませんが、そこまで至らない税率で、国会がそれを承認すれば、やはり違憲とは言えません。

ところで、他の国ではどうかというと、食料品の除外などがありますが、日本よりずっと税率は高いです。日本は消費税率の低い国にグループ分けされます。